

**ノート:**

- 1) パソコンによっては+/-12Vdc RS-232 信号を供給しておりませんので、コンバーターは 57.6KBPS の最大レートで動作しません。
- 2) GNDとshield信号は接続されていますので、電氣的に同等です。
- 3) 9Vdc 400ma 電源アダプターをお薦めします。
- 4) 長い距離では少なくとも 24AWG のツイスト・ペア線を強くお薦め致します。

**Warranty:**

**Integrity Instruments** warranties **all** products against defective workmanship and components for the life of the unit. Integrity Instruments agrees to repair or replace, at it's sole discretion, a defective product if returned to Integrity Instruments with proof of purchase.

**XP422-25A**

**XP422-25I オプト・アイソレーション**

**RS-232 ⇔ RS-422 コンバーター**



**Integrity Instruments**

パフォーマンス特性		
操作温度範囲	-40 ~ 85 (-40F ~ 185F)	
DC入力電圧最小(+V)	7.5Vdc	
DC入力電圧最大(+V)	24Vdc	
DC入力電流公称値(+V) XP422-25A	45mA	
DC入力電流公称値(+V) XP422-25I	90mA	
DC入力電流最大(+V)	250mA	
ESD静電気放電(A/B)	1500V	
ボーレート最大	115.2Kbps	
ボーレート最小	600bps	
RS-422ノード数	ポイントからポイント	
最大ケーブル長	1,200mm	
ターミネーション抵抗	120ohm	
アイソレーション電圧(XP422-25Iのみ)	3,000ボルト	
ジャンパー設定		
ジャンパー数	機能	デフォルト
JP4 JP5	DTE 又は、DCE	DCE(オリエンテーション)

#### ノート:

RS-422はポイントからポイントです。これはA点からB点のみとということです。  
RS-422マルチドロップはRS-485 4線です。この場合は、XP4854W-25を使って下さい。

#### DB25ピン

RS-232 TxD送信(出力) : DB25 pin 2  
RS-232 RxD受信(入力) : DB25 pin 3  
RS-232 グランド : DB25 pin 7

#### LED操作

XP422-25A/Iはケーブルリングの問題と一般操作を助けるためにパワー・ステータスとシグナルLEDを持っています。シグナルLEDはデータがあるときのみパワーされますので、それらは短い周期のみ点滅します。

電源 YELLOW LED: ユニットに電源供給時 ON  
信号 RED LED: RS-232送信のときON  
信号 GREEN LED: RS-422受信のとき

#### 電源供給

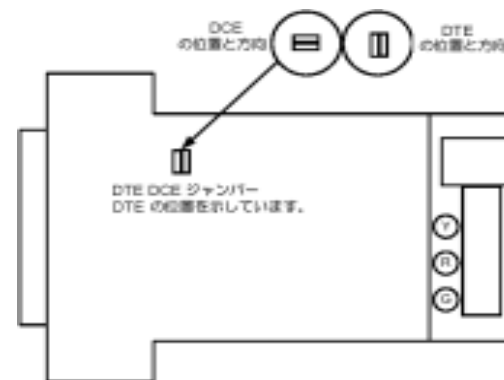
XP422-25A/Iの動作には外部電源が必要です。PS9J9 Vdc 400mAをお奨めします。  
電源は7.5 ~ 24.0Vdcの範囲内でないといけません。

#### ジャンパー

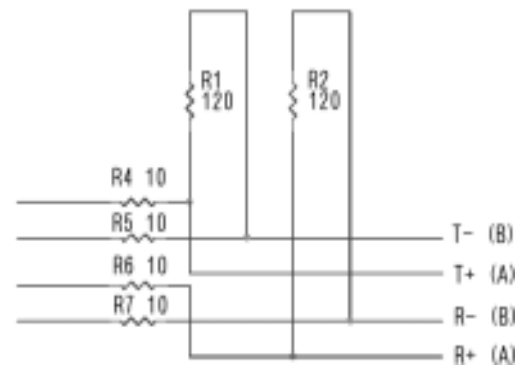
XP422-25A/IにはDTE/DCEジャンパーが付いています。ジャンパーはユニットの内部にあります。デフォルトはDTEです。

もし、DCE配線が必要な場合は、小さなドライバーでケースの側面のスロットをねじってケースを開けてください。

ジャンパーの位置と方向



ターミネーション回路図と結線

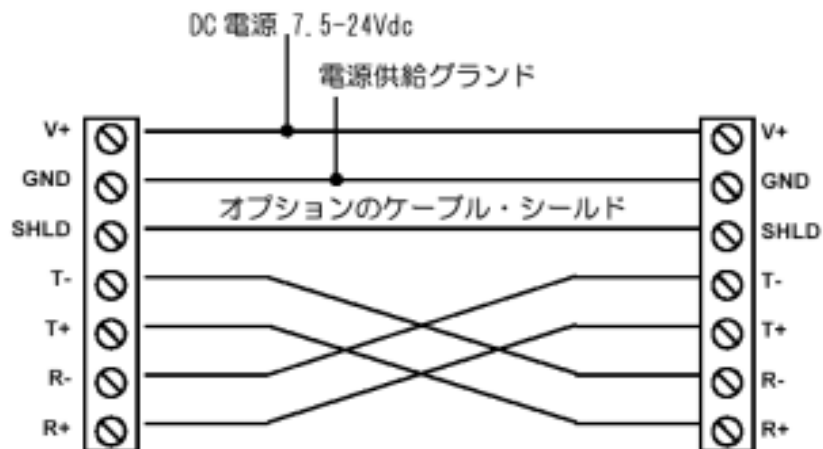


## RS-422結線

XP422-25A/IIはポイントからポイントで操作するように設計されています。

フル・デュプレックス (全2重) コンフィギュレーションではデータの送信とデータの受信にはセパレートされたデータ線のペアが使用されます。

XP422-25AとXP422-25Iフル・デュプレックス・ケーブル図



## 結線ノート

- 1) GNDとSHLDは10 抵抗でユニット内で接続されています。
- 2) ケーブルのターミネーション (終端) は長距離と高速アプリケーションには重要です。
- 3) 推奨ケーブル : 約61mmを超える場合は、24awg標準のシールド付きツイスト・ペア・ケーブルを使用してください。
- 4) 送信と受信のケーブルはクロス接続としてください。

## フロー制御オプション

マイクロソフト・ウィンドウズ・オペレーティング・システムはユーザーがいつかのRS-232フロー・コントロール・オプションを選択することを許しております。

XP422-25Iはハードウェアとノン・オプションの両方をサポートしています。

Xon/Xoff フロー制御は、RS-422ターゲット・デバイスがXon/Xoffをサポートしている時のみサポートしています。

ハードウェア・フロー・コントロールは、RTS/CTSフローとしても知られています。いかなるRS-232データも送信の前にPCがRTS(送信用意) 信号を有効にし、接続され

たデバイスからのCTS(送信クリア)を待ちます。ユニットが接続されているRS232装置内のRTS線をモニターしCTS線を有効にします。

ノン・フロー設定もサポートされています。

フロー・コントロールの選択の種類に関係なく、XP422-25A/IIは自動的にRS-232の送信と受信信号をコントロールします。

